

地域からの経済再生
産業集積・イノベーション・雇用創出
(橘川武郎・連合総研編、有斐閣刊)

連合総研「産業構造の変化と地域経済」に関する研究委員会（*主査）

*橘川 武郎（東京大学社会科学研究所教授）	松島 茂（法政大学経営学部教授）
山崎 朗（九州大学大学院経済学研究院教授）	西口 敏宏（一橋大学イノベーション研究センター教授）
辻田 素子（静岡産業大学経営学部講師）	北嶋 守（機械振興協会経済研究所 統括研究課長・研究主幹）
八幡 成美（法政大学キャリアデザイン学部教授）	長谷川一博（連合経済政策局局長）
湯沢 昌広（連合経済政策局部長）	大橋 太郎（連合経済政策局部長）
鈴木 義雄（自動車総連部品政策局長）	八野 正一（サービス・流通連合事務局次長）
須賀 恭孝（連合前経済政策局局長）	西田 真吾（連合前経済政策局局長）

本研究委員会は、2003年9月に連合から出された「地域活性化・産業空洞化プロジェクト」の政策提言を、地域経済・産業集積や中小企業研究の専門家の協力を得て、バックアップするために設置された。北は岩手県から南は大分県までの全国13地域の実態調査に基づいて、多様な視点から地域経済再生の途を探った。

第Ⅰ部産業集積と第Ⅱ部イノベーションでは、各地域を素材としながら研究委員会メンバーの専門領域から検討を加えている。この研究では、雇用に焦点を当てたことが一つの特徴であり、第Ⅲ部雇用創出では、第Ⅰ部・第Ⅱ部各章の分析を受けながら、滋賀県と長浜市で雇用の維持と地域活性化が実現されたメカニズムを解明している。

ここ数年間の日本経済の景気回復にも拘わらず、地域経済については、多くの地域で依然として重い課題として継続しており、本書は地方連合をはじめとして全国各地の労働組合が雇用創出と地域活性化をめざす取り組みに役立つ内容となっている。

目次

序章 本書のねらいと構成

第Ⅰ部 産業集積

第1章 産業構造の多様性と地域経済の「頑健さ」－群馬県桐生市、太田市および大泉町のケース－

第2章 産業集積再活性化への挑戦とジレンマ

第3章 産業集積における新産業の創出

第4章 IT産業の地方集積の課題

第Ⅱ部 イノベーション

第5章 変容する日本型産業集積－イノベティブクラスターへの遷移に向けて－

第6章 中小企業ネットワークの日中英比較－「小世界」組織の視点から－

第Ⅲ部 雇用創出

第7章 地域経済の活性化と雇用の創出

補論 統計データが語る地域経済と雇用の現状